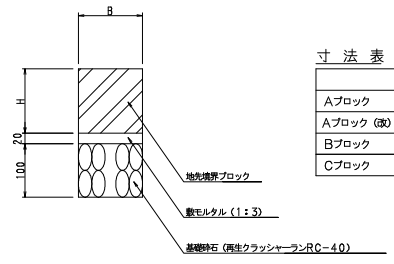


1

地先境界ブロック S=1:10
(一般部)



寸法表

	B	H
Aブロック	120	120
Aブロック (既)	120	300
Bブロック	150	120
Cブロック	150	150

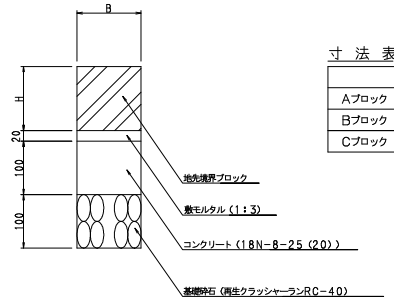
参考：地先境界ブロック（一般部）材料表

(10m当り)

名称	規格・寸法	単位	Aブロック	Aブロック (既)	Bブロック	Cブロック	摘要
地先境界ブロック	Aブロック、L=600	本	16.4	—	—	—	参考質量 18kg
地先境界ブロック	Aブロック (既)、L=600	本	—	16.4	—	—	参考質量 52kg
地先境界ブロック	Bブロック、L=600	本	—	—	16.4	—	参考質量 24kg
地先境界ブロック	Cブロック、L=600	本	—	—	—	16.4	参考質量 30kg

2

地先境界ブロック S=1:10
(乗入れ部)



寸法表

	B	H
Aブロック	120	120
Bブロック	150	120
Cブロック	150	150

参考：地先境界ブロック（乗入れ部）材料表

(10m当り)

名称	規格・寸法	単位	Aブロック	Bブロック	Cブロック	摘要
地先境界ブロック	Aブロック、L=600	本	16.4	—	—	参考質量 18kg
地先境界ブロック	Bブロック、L=600	本	—	16.4	—	参考質量 24kg
地先境界ブロック	Cブロック、L=600	本	—	—	16.4	参考質量 30kg

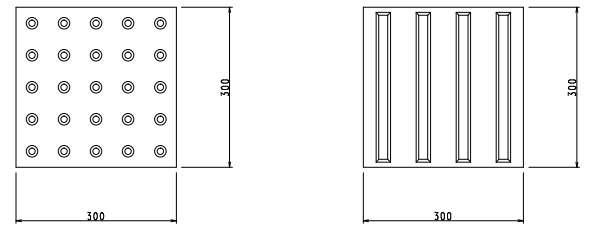
※コンクリートの数量は、(B×0.100×10.000)
※型枠の数量は、(10.000×0.100×2)

3

視覚障害者誘導用ブロック S=1:10

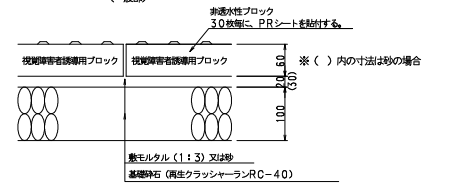
点状突起

線状突起

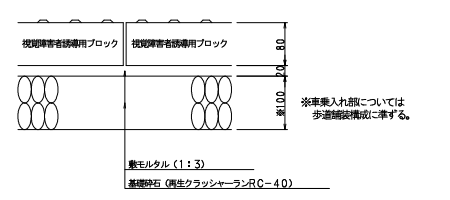


※突起の寸法は、JIS T9251による

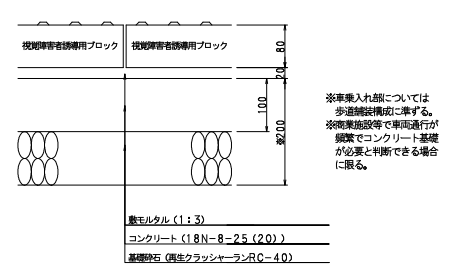
断面図 (一般部)



断面図 (乗入れ部)



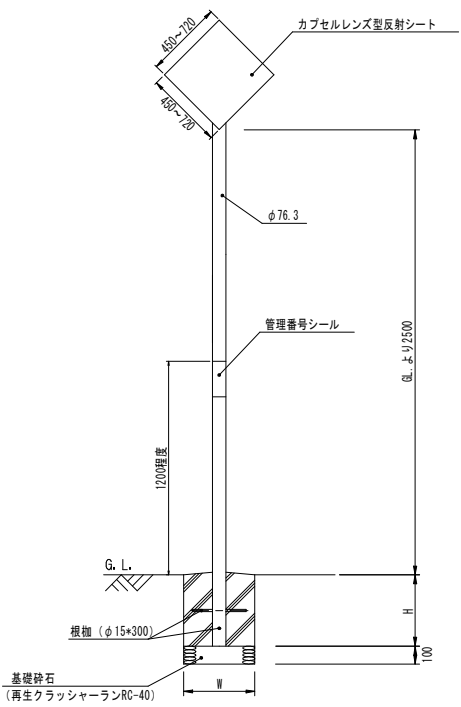
断面図 (乗入れ部 コンクリート基礎)



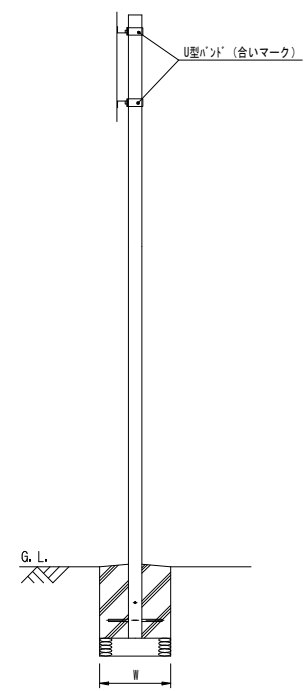
※乗入れ部については歩道施設等で専用通行が頻繁でコンクリート基礎が必要と判断できる場合に限る。

警戒標識

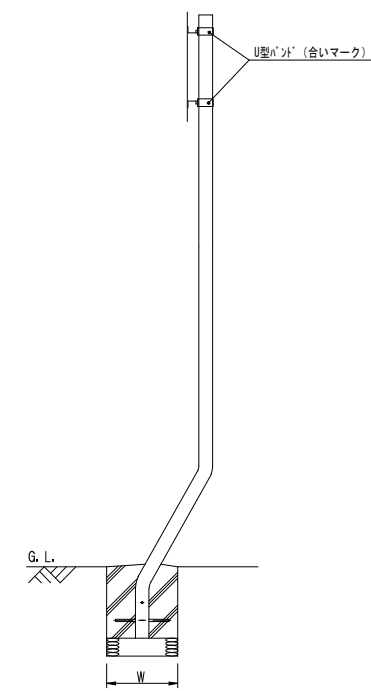
正面図



側面図



側面図 (曲柱) ※参考



- 仕様・規格
- 1.) 支柱は下地垂鉛メッキ、静電粉体塗装 (白色) とする。
 - 2.) 基礎サイズは下記のとおりとする。
 - 3.) 設計風速40m/secを標準仕様とする。
 - 4.) 基礎は水はけのよい仕上げにすること。

規格	設計風速40m/sec	
	基礎幅W	高さH
1.0倍 450*450	500	600
1.3倍 585*585	500	800
1.6倍 720*720	500	900

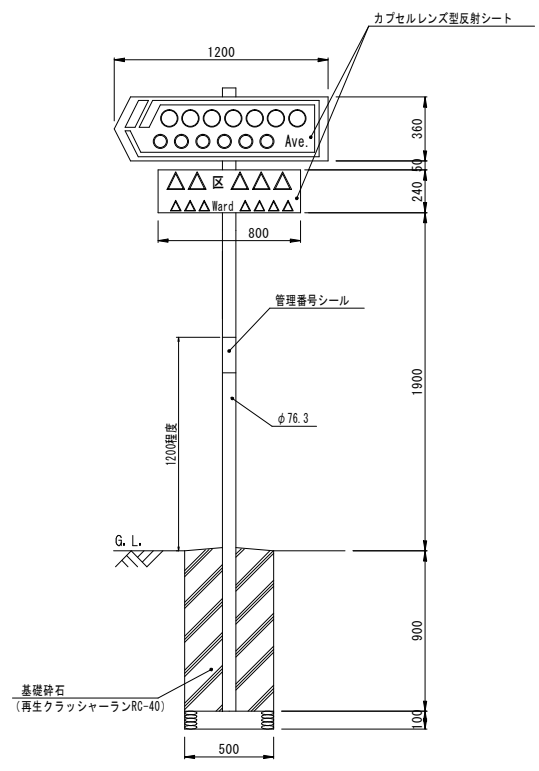
W=500 (設計風速40m/sec) (10基あたり)

名称	設置場所	舗装版切断	舗装版破砕	残土処理	As塊処理	路盤材処理	基礎砕石	型枠	コンクリート基礎	材 料				
										標識柱	基礎	標識板 超高輝度 広角反射シート	取付金具	
形状・寸法							RC-40 t=10cm		18-B-25 (高炉)					
量	1.0倍 450*450	舗装	20.0 m	2.5 m ²	1.5 m ³	0.1 m ³	0.3 m ³	2.5 m ²	— m ²	1.47 m ³	(10) 本	(10) 基	10 枚	10 組
		未舗装	—	—	1.7	—	—	2.5	12.0	1.47	(10)	(10)	10	10
	1.3倍 585*585	舗装	20.0	2.5	2.0	0.1	0.3	2.5	—	1.96	(10)	(10)	10	10
		未舗装	—	—	2.2	—	—	2.5	16.0	1.96	(10)	(10)	10	10
	1.6倍 720*720	舗装	20.0	2.5	2.2	0.1	0.3	2.5	—	2.21	(10)	(10)	10	10
		未舗装	—	—	2.5	—	—	2.5	18.0	2.21	(10)	(10)	10	10

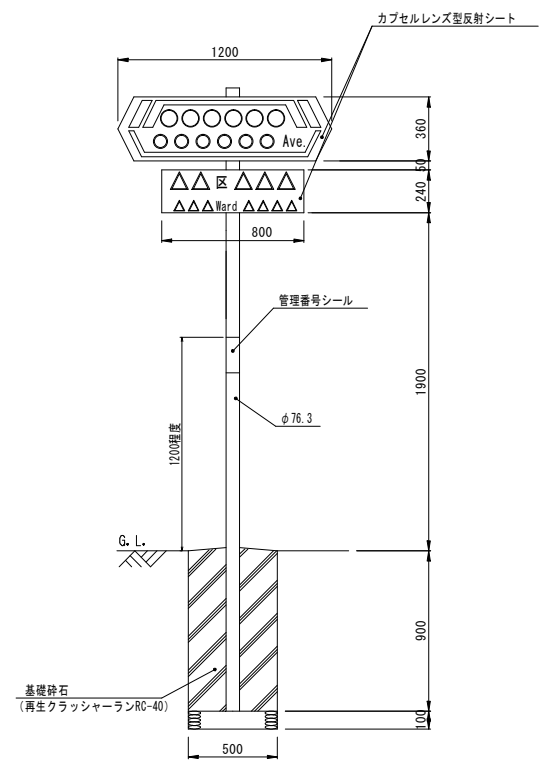
※上記数量 (舗装部) については、舗装厚をt=140mm (As40mm、路盤100mm) として算出したものである。
 ※管理番号シールは、土木事務所配布。

道路愛称名標識

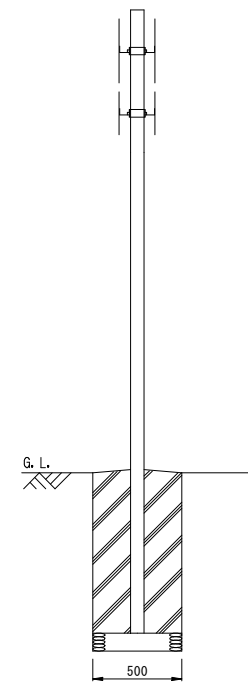
正面図
(起終点)
119-A



正面図
(中間点)
119-B



側面図



仕様・規格

- 1.) 支柱は下地亜鉛メッキ、静電粉体塗装（白色）とする。
- 2.) 設計風速40m/secを標準仕様とする。
- 3.) 基礎は水はけのよい仕上げにすること。
- 4.) 歩道幅員が十分でなく、歩行者通行の妨げとなる場合は、標示板の設置高さを2.5m以上とし、構造については再計算し決定すること。

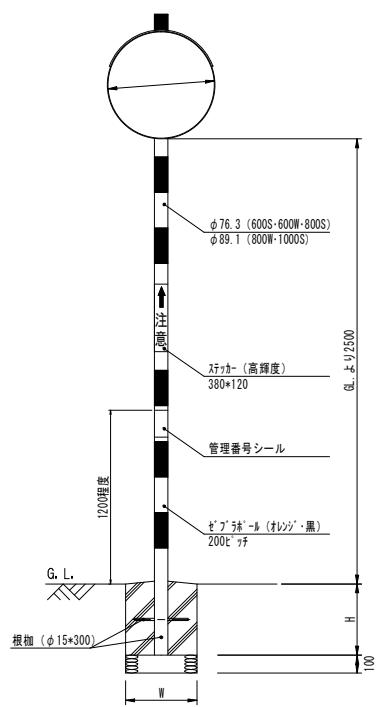
(10基あたり)

名称	設置場所	舗装板切断	舗装板破砕	残土処理	As塊処理	路盤材処理	基礎砕石 RC-40 t=10cm	型枠	コンクリート基礎 18-8-25 (高歩)	材料			
										標準柱	基礎	標準板	取付金具
数量	舗装	20.0 m	2.5 m ²	2.2 m ³	0.1 m ³	0.3 m ³	2.5 m ²	- m ²	2.21 m ³	(10) 本	(10) 基	10 枚	10 組
	未舗装	-	-	2.5	-	-	2.5	18.0	2.21	(10)	(10)	10	10

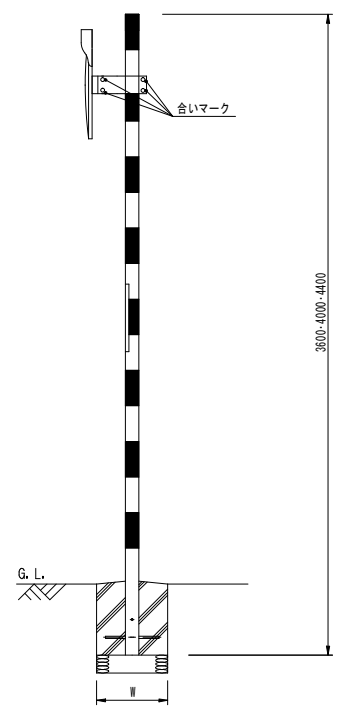
※上記数量（舗装部）については、舗装厚をt=140mm（As40mm、路盤100mm）として算出したものである。
 ※管理番号シールは、土木事務所で配布。

道路反射鏡

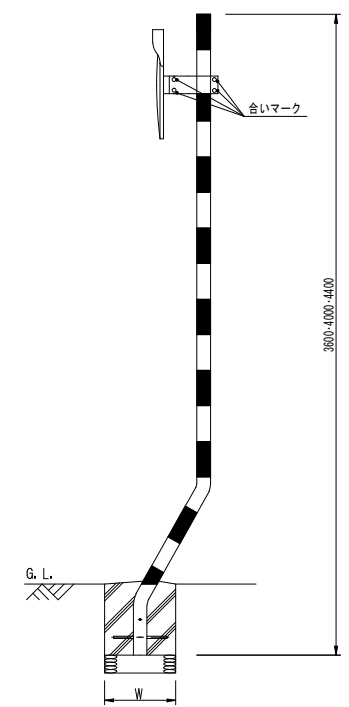
正面図



側面図



側面図 (曲柱) ※参考



仕様・規格

- 1.) 鏡面材質はステンレスとする。
- 2.) 支柱は下地亜鉛メッキ、静電粉体塗装とする。
- 3.) 基礎サイズは下記のとおりとする。
- 4.) 設計風速40m/secを標準仕様とする。
- 5.) 基礎は水はけのよい仕上げとする。

規格	設計風速40m/sec	
	基礎幅W	高さH
600S	500	600
600W 800S	500	900
800W 1000S	500	1200

W=500 (設計風速40m/sec)

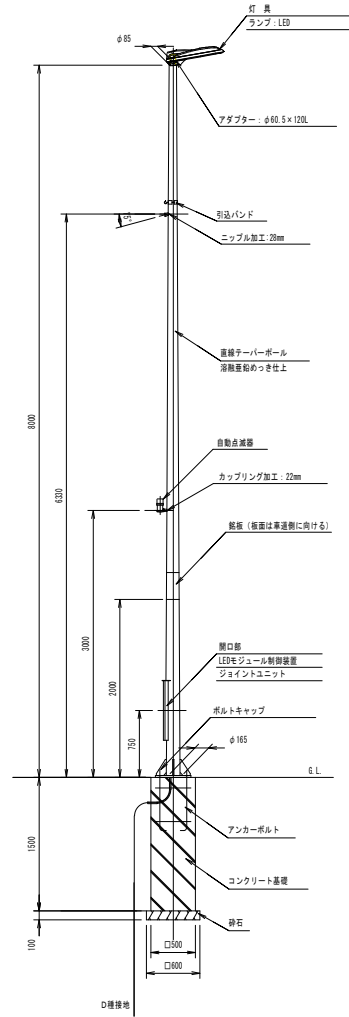
(10基あたり)

名称	設置場所	舗装版切断	舗装版破砕	床掘	埋戻し	残土処理	As塊処理	路盤材処理	基礎砕石	型 枠	コンクリート基礎	材 料				
												支柱	鏡体	補助金具	スチッカー	
形状・寸法									RC-40 t=100mm		18-8-25 (高輝)					
数 量	600S	舗装	20.0 m ²	2.5 m ²	1.8 m ³	- m ³	1.5 m ³	0.1 m ³	0.3 m ³	2.5 m ²	- m ²	1.47 m ³	10 本	10 面	- 組	10 枚
	"	未舗装	-	-	3.2	1.5	1.7	-	-	2.5	12.0	1.47	10	10	-	10
	600W (800S)	舗装	20.0	2.5	2.5	-	2.2	0.1	0.3	2.5	-	2.21	10	20 (10)	10 (-)	10
	"	未舗装	-	-	4.7	2.2	2.5	-	-	2.5	18.0	2.21	10	20 (10)	10 (-)	10
	800W (1000S)	舗装	20.0	2.5	3.3	-	3.0	0.1	0.3	2.5	-	2.92	10	20 (10)	10 (-)	10
	"	未舗装	-	-	6.1	2.9	3.2	-	-	2.5	19.2	2.92	10	20 (10)	10 (-)	10

※上記数量 (舗装部) については、舗装厚をt=140mm (As40mm、路盤100mm) として算出したものである。
 ※管理番号シールは、土木事務所配布。

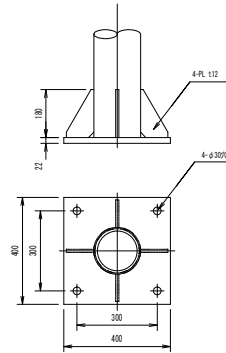
道路照明灯 (独立柱H=8.0m)

照明柱姿図 S=1/30

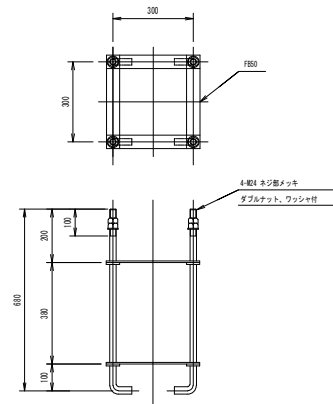


※基礎は水はけのよい地上げにすること。
 ※鉄板は、土木事務所にて配布。
 ※ボルト等に食いマークを捺印する。
 ※照度状況や照度分布等を考慮し、オーバーハング式との比較検討を行い支柱タイプを決定する。

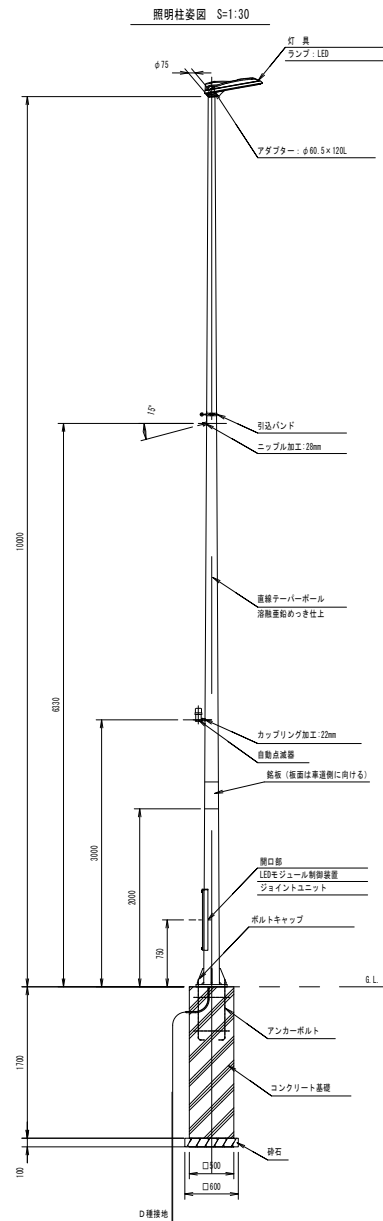
ベースプレート詳細図 S=1/10



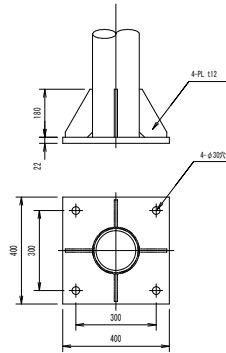
アンカーボルト詳細図 S=1/10



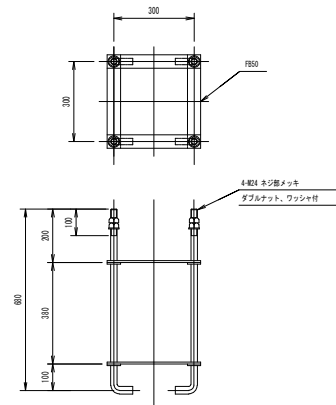
道路照明灯 (独立柱H=10.0m)



ベースプレート詳細図 S=1/10



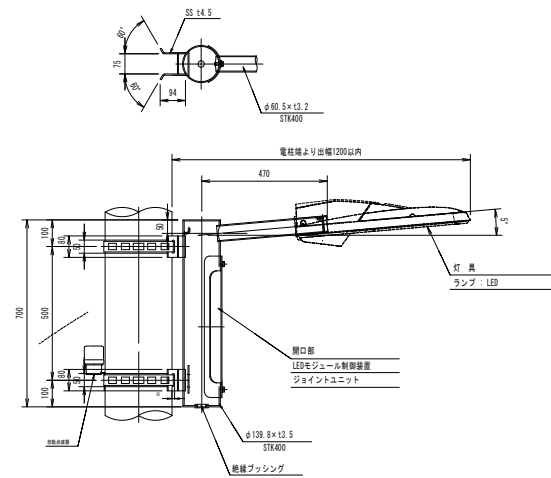
アンカーボルト詳細図 S=1/10



※基礎は水はけのよい仕上げにすること。
 ※板は、土木事務所で配布。
 ※ボルト等に合いマークを設置する。
 ※現場状況や照度分布等を考慮し、オーバーハング式との比較検討を行い支柱タイプを決定する。

道路照明灯（共架）

共架灯姿図 S=1:10

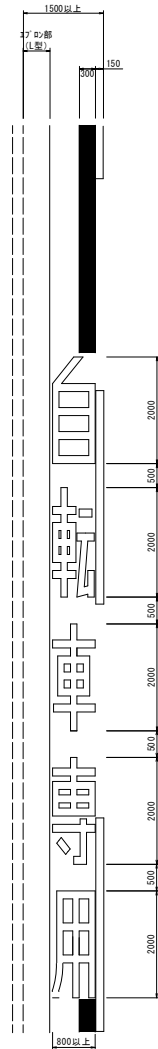


※浴殿面鉛めっき仕上
 ※新設は、土木事務所配布、共架する柱に設置する。
 ※ポルト等に合いマークを設置する。

自転車走行環境整備関係

路面標示

自転車レーン 縮尺 1:50

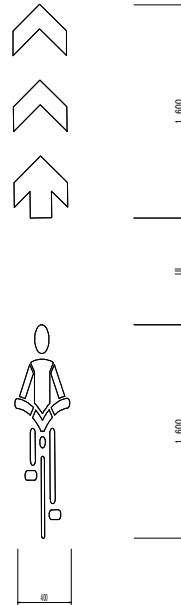


※道路の状況等によりやむを得ない場合は
整備区間の一部で舗装部分の幅員を1.0m以上まで縮小することができる。

材料表 (1m当り)

名称	規格・寸法	単位	数量	摘要
排水性舗装部 : 溶融噴射式 排水性舗装部以外 : 溶融式または 溶融噴射式	青色 W=0.30	m ²	0.3	

自転車ピクトグラム 縮尺 1:20



※交差点に侵入する手前や自動車と自転車の
交錯の機会が多い区間等に設置する。
※主な交差点では、ピクトグラムに加え、
「左側通行」の文字を設置する。

矢羽根 縮尺 1:20

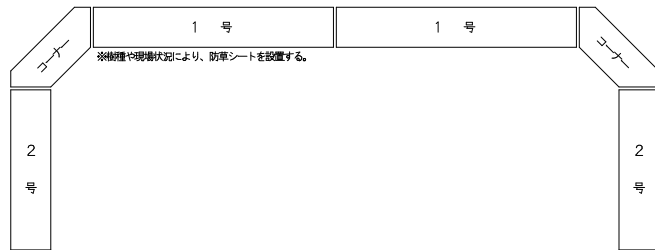


※一般部は10m間隔、交差点内は5m間隔で設置する。
※箇所数で積算する。
※DID地区外は、費用対効果等を考慮して、一般部を
50m間隔で設置を可能とする。

参考：材料表 (1箇所当り)

名称	規格・寸法	単位	数量	摘要
排水性舗装部 : 溶融噴射式 排水性舗装部以外 : 溶融式または 溶融噴射式	青色	m ²	0.675	

施 工 例

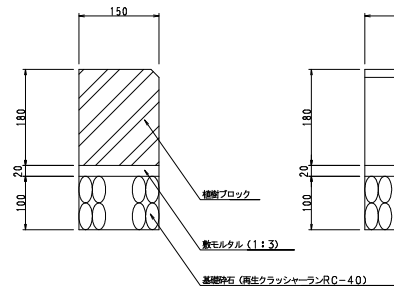


植樹ブロック S=1:1.0

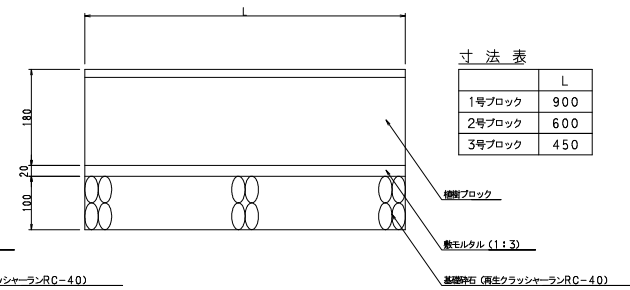
1号~3号ブロック

コーナーブロック

断面図

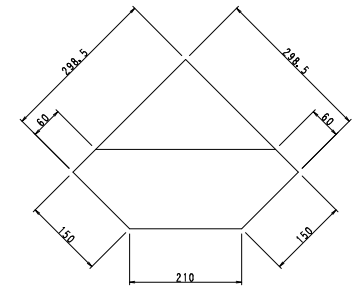


正面図



寸法表

	L
1号ブロック	900
2号ブロック	600
3号ブロック	450



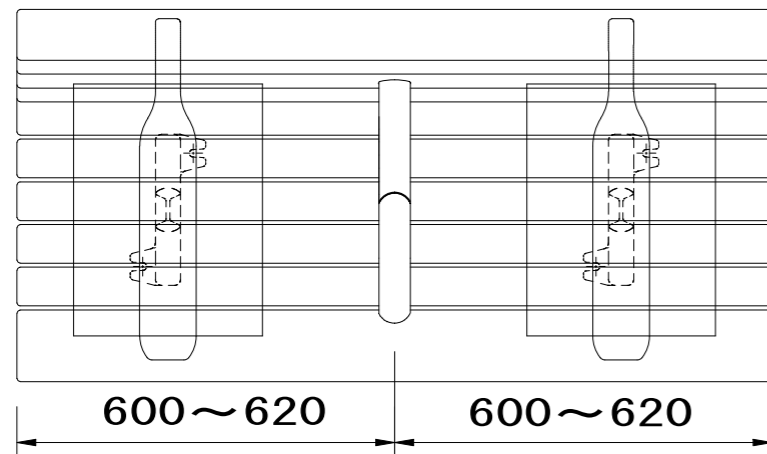
参考：植樹ブロック材料表

(1箇所当り)

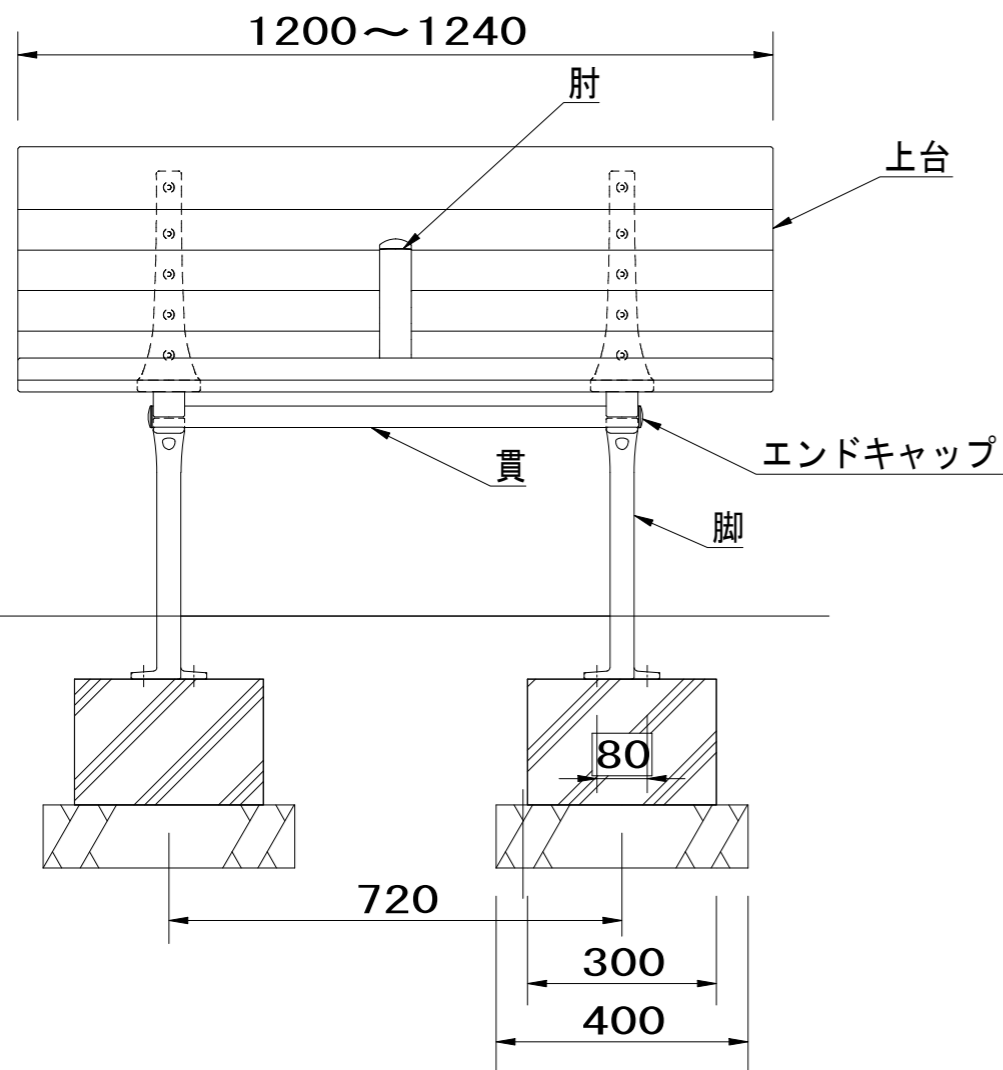
名 称	規 格 ・ 寸 法	単 位	数 量	備 考
植樹ブロック	1号 (150×180×900)	本		参考重量 58kg
植樹ブロック	2号 (150×180×600)	本		参考重量 39kg
植樹ブロック	3号 (150×180×450)	本		参考重量 39kg
植樹ブロック	コーナー	本		参考重量 21kg

※防草シートは、別途計上する。

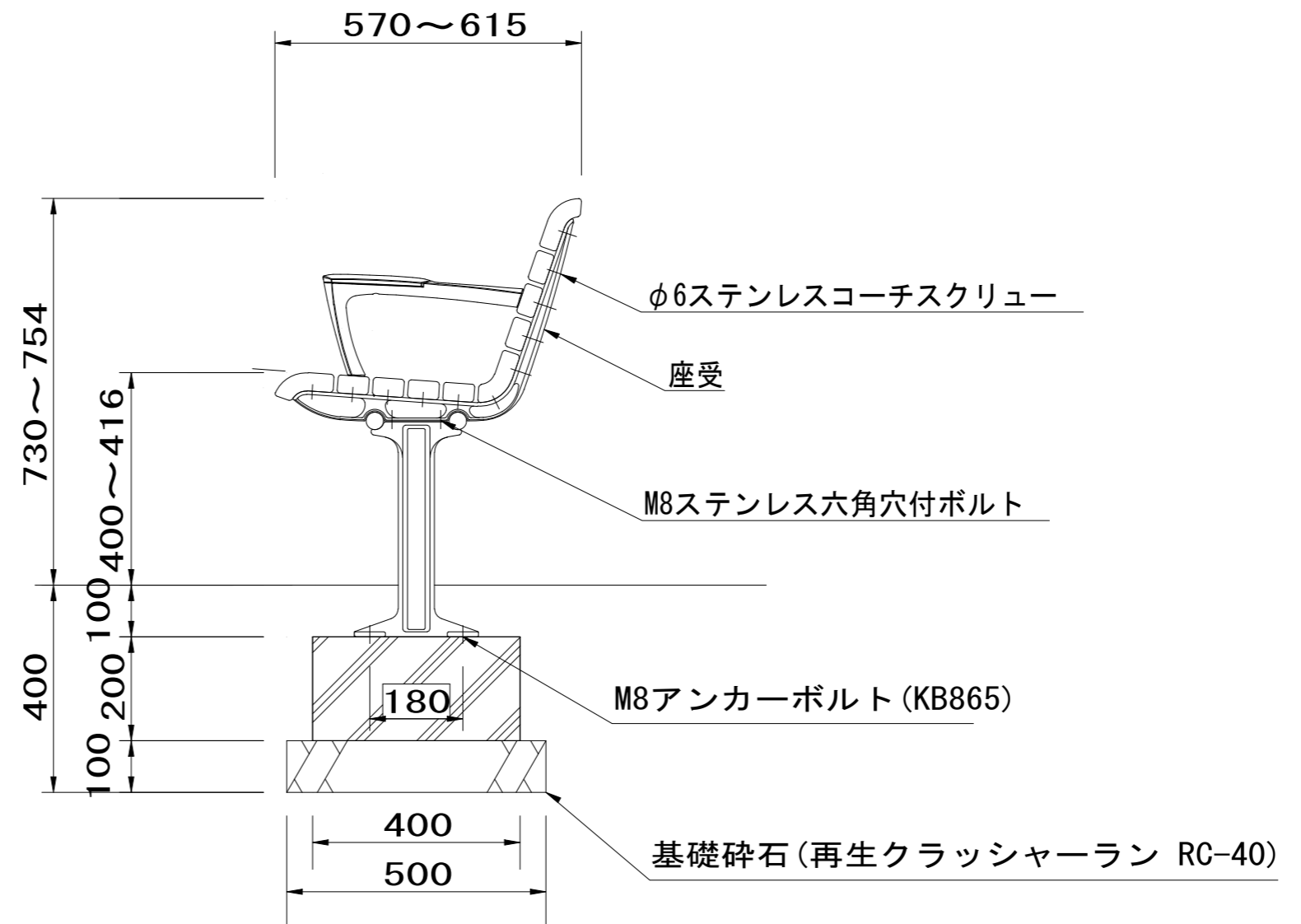
ベンチ (据置式・背もた有り)



平面図 S=1/6



正面図 S=1/6

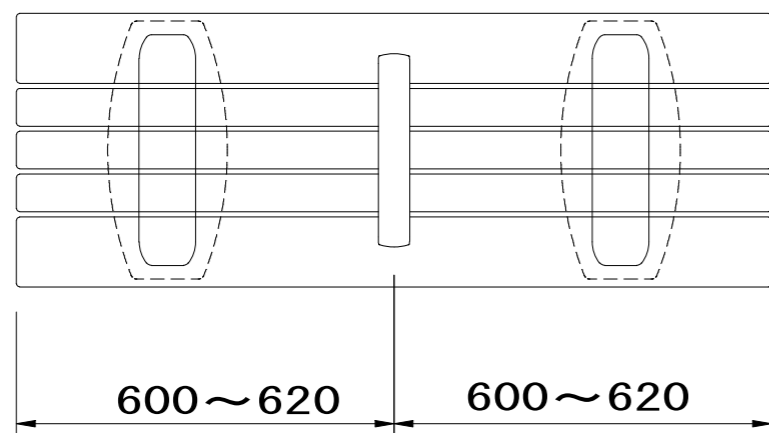


側面図 S=1/6

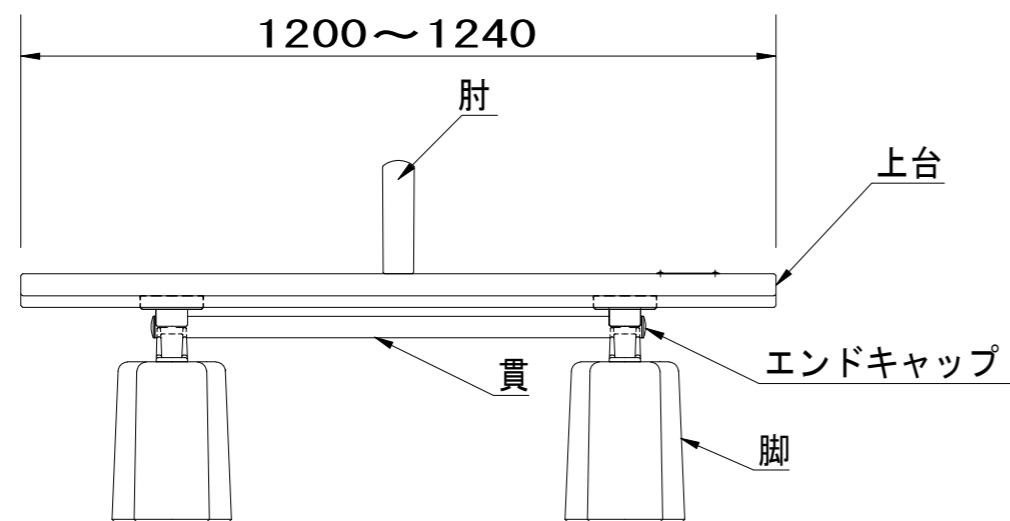
- ※脚、肘、座受は、アルミ合金鋳物で、合成樹脂塗装とする。
- ※上台は合成木材または再生木材とする。
- ※基礎と脚の固定はアンカーボルトとする。
- ※ボルト、ナット、ネジ類は、すべてステンレス製とする。
- ※コンクリート基礎ブロックを使用する場合は、安全性が確認できる資料を添付すること。
- ※(一社)日本公園施設業協会 SPL表示認定企業の製造製品とする。
- ※(一社)日本公園施設業協会の生産物賠償責任保険に加入した製品とする。
- ※(一社)日本公園施設業協会の生産物賠償責任保険に加入した製品とする。

13

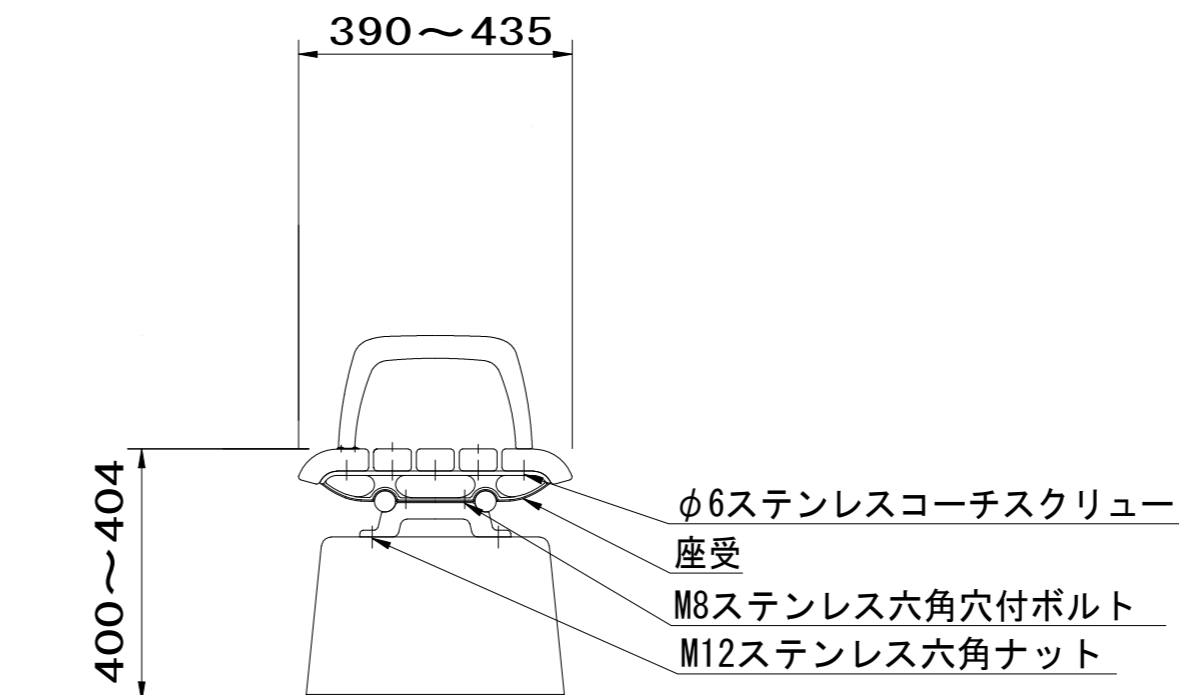
ベンチ (据置式・背もたれ無し)



平面図 S=1/6



正面図 S=1/6



側面図 S=1/6

φ6ステンレスコーチスクリュー
座受
M8ステンレス六角穴付ボルト
M12ステンレス六角ナット

- ※脚、肘、座受は、アルミ合金鋳物で、合成樹脂塗装とする。
- ※上台は合成木材または再生木材とする。
- ※ボルト、ナット、ネジ類は、すべてステンレス製とする。
- ※コンクリート基礎ブロックを使用する場合は、安全性が確認できる資料を添付すること。
- ※(一社)日本公園施設業協会 SPL表示認定企業の製造製品とする。
- ※(一社)日本公園施設業協会の生産物賠償責任保険に加入した製品とする。